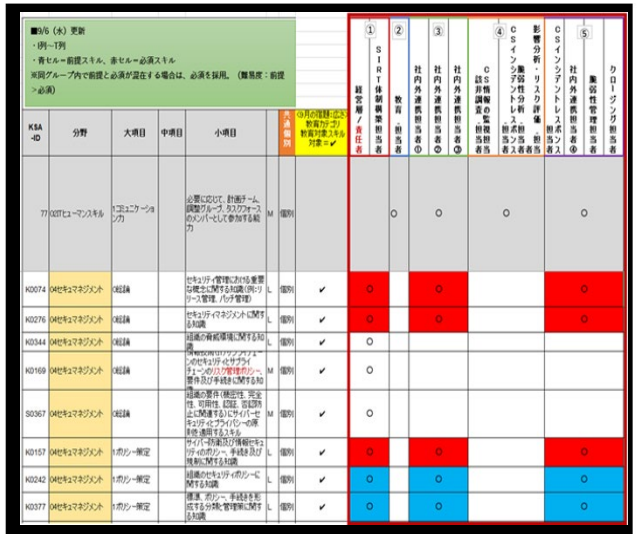
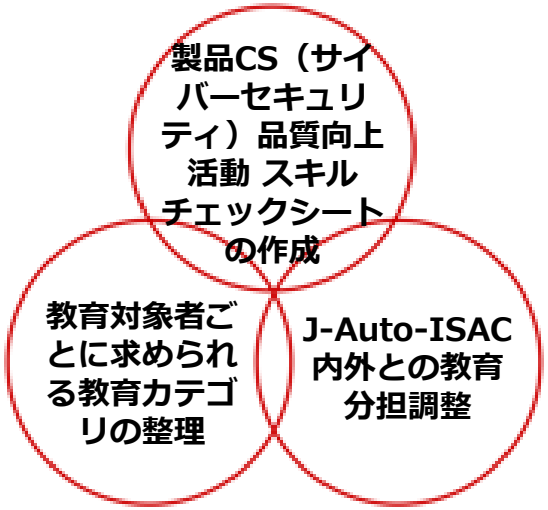


■3/6（水）更新
・1列～T列
・青セル＝前提スキル、赤セル＝必須スキル
※同グループ内で前提と必須が混在する場合は、必須を採用。（難易度：前提＞必須）

KSA -ID	分野	大項目	中項目	小項目	共通/個別	③月の現状：広く教育カテゴリ 教育対象スキル対象＝✔	① SIRT体制構築担当者 経営層／責任者	② 教育・担当者	③ 社内外連携担当者①	③ 社内外連携担当者②	③ 社内外連携担当者③	④ CS品質情報収集・監視担当者	④ 脆弱性管理・リスク評価・担当者	④ CSインシデントレスポンス・担当者	⑤ CSインシデントレスポンス担当者	⑤ 社内外連携担当者①	⑤ 脆弱性管理担当者	クローリング担当者
77	K07ヒューマンスキル	1コミュニケーション力		必要に応じて、計画チーム、調整グループ、タスクフォースのメンバーとして参加する能力	M	個別		○		○		○			○			
K0074	04セキュマネジメント	1組織		セキュリティ管理における重要な概念に関する知識（例：リソース管理、バッチ管理）	L	個別	✔	○		○						○		
K0276	04セキュマネジメント	1組織		セキュリティマネジメントに関する知識	L	個別	✔	○		○						○		
K0344	04セキュマネジメント	1組織		組織の脅威環境に関する知識	L	個別	✔	○										
K0169	04セキュマネジメント	1組織		情報セキュリティ（ICT）システムフェーズのセキュリティのサプライチェーンの立ち管理ポリシー、要件及び手続きに関する知識	M	個別	✔	○										
S0367	04セキュマネジメント	1組織		組織の要件（機密性、完全性、可用性、認証、否認防止）に関連するにサイバーセキュリティ・プライバシーの原則を適用する力	M	個別	✔	○										
K0157	04セキュマネジメント	1ポリシー策定		サイバー防衛及び情報セキュリティのポリシー、手続き及び規制に関する知識	L	個別	✔	○		○						○		
K0242	04セキュマネジメント	1ポリシー策定		組織のセキュリティのポリシーに関する知識	L	個別	✔	○		○						○		
K0377	04セキュマネジメント	1ポリシー策定		標準、ポリシー、手続きを形成する分析、管理策に関する知識	L	個別	✔	○		○						○		

人材育成のためのスキルマップの策定
教育対象者×教育カテゴリ

主に取り組む３つの分野



CS: サイバーセキュリティ

期待される３つの成果

- 自社の組織・人材のスキルレベルの把握
- 必要となる教育カテゴリの把握
- 自動車系協会の教育分担の整理と教育達成相場観の把握

セキュリティ人材育成SWG

製品CS(サイバーセキュリティ)品質向上活動を円滑に進めることができる組織・人材を育成するための戦略策定

製品CS品質向上活動を担う組織の構築、人材の育成を通じて、CS情報の監視からインシデント対応を円滑に進めることができるようになる。その一連の活動で求められるスキルレベルの測定手法、教育対象の人材モデル、教育カテゴリを整理する。

教育コンテンツとして、個別研修SWGが作成する資料、他のSWGの成果物、外部協会のセミナーなどを活用することを前提に、J-Auto-ISAC内外との教育活動の分担を整理する。

DNV BAJ(株) 竹森 敬祐

アウトプットした過去実績

2022年9月に、自社組織・人材のスキルレベルを測定する自己チェックシートとしての「製品CS（サイバーセキュリティ）品質向上活動 スキルチェックシートver1.0」を技術委員会内でリリースしました。

グループメンバーの声

OEM A

多彩な業種メンバと論議を交わした現場本位の育成計画の公表が楽しみです。

グループメンバーの声

サプライヤ B

業界標準化に貢献できるだけでなく、自社取組に有益な時間になっています。

copyright © J-Auto-ISAC, All Rights Reserved.